

エコニュース さって



第 17 号

平成 19 年 5 月 28 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

初夏の ゆっくり中川探検ウォーク

5 月 13 日(日)は明るい曇り空という絶好のウォーキング日和。中川は田植え時期の為水が多く少し濁っていましたが、堤や屋敷林は若葉の緑がいっぱいで爽やかです。

今回は念願の一般参加の方々と講師を迎えての中川探検ウォーク。東公民館から高平橋まで片道 1 km 程をゆっくり往復して身近な自然について、観て触れて感じてみよう、そして幸手の自然を学ぼうと鳥の研究をしている鷺宮の青柳氏と樹木や植物に詳しい“NPO とよあしはら”の山本氏においでいただきました。



これは何の樹？

出がけに、カワウが 1 羽、対岸の舟の上から私たちが通り過ぎるのをじっと観察？していましたが、望遠鏡で観ると、その澄んだ眼が素敵でした。望遠鏡には、首の赤いカメのつがいも登場、悪名高きカミツキガメかと思いきや、別種のカメと分かって一安心。他にも県の鳥シラコバトやウグイス、ツバメ、カワセミと次々に目にすることができました。

幸手の代表的な樹木のケヤキ、エノキ、ムクノキが並んでいる所では、よく似たこれらの樹の見分け方を勉強。大きなウロコ状にはがれるケヤキ、細く縦にはがれるムクノキ、灰色ではがれないエノキと、樹皮の特徴を覚えると分かりやすい。エノキの葉は国蝶のオオムラサキの幼虫が食べ、その実はムクノキと同じ甘い実で鳥が好んで食べるので、同じ植えるのなら生態系に配慮して、エノキやムクノキにしてほしいとのこと。昭和 30 年代にはたくさん見られたハンノキは今は少なくなり、埼玉県の蝶、ミドリシジミにとって大事な樹ですが、実から殖やすことができないなど勉強になりました。

土手には丈夫な外来種の野草が増えて少しずつ変化していることも実感しました。和やかな探検ウォークでしたが、予定の 1 時間半では短かすぎて講師のお二人からも、参加の皆様からももっと時間があつたら良いのに残念との感想が多く、次回の参考にしたいと思います。今回は 28 名と多くの方々に参加していただき、あわせて川岸のクリーン作戦も行い、皆様の協力のおかげでケガもなく無事に終了できたことに感謝しています。(藤城)

観察した主な動植物

カワウ、シラコバト、ウグイス、カワセミ、ツバメ、カメ、
ジャノメチョウ、シジミチョウ、カメムシ、
ケヤキ、エノキ、ムクノキ、ヤナギ、ユズリハ、ツバキ、サクラ、カリン、マルメロ
イヌムギ、ホソムギ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、セイヨウアブラナ、セイ
ヨウカラシナ、アメリカフウロ、シロツメクサ、ハルジオン、ヒルガオ、クコ、ノビル、
ギシギシ、スイバ

さくらの落葉リサイクルで腐葉土づくり 今年も、サツマイモも植えたぞ！

＜第 14 回腐葉土づくりの会＞ 4 月 15 日（日）20 名が参加して、見事に熟成した第 2 床の腐葉土を袋詰めして、各自持ち帰りました。農園では、ジャガイモの余分な芽を欠き取りました。

＜第 15 回腐葉土のつくりの会＞

5 月 20 日（日）、晴天のもとサツマイモを植付けました。今回はガールスカウト第 72 団の皆さんが初参加して、にぎやかに始まりました。子どもたちは先ずふよう土の山にのって、その柔らかい感触を実感しました。前回残した腐葉土の袋詰めを行い、幸手市内の小学校に腐葉土を提供することを決め、取り敢えず 10 袋を準備しました。また、サツマイモの苗を植える前に腐葉土を堆肥としてまき、全員で、昨年と同様、船底挿しにして、300 本（ベニアズマ 200 本、ニシキ 100 本）を植えました。ガールスカウトのみなさんも上手に植えて、記念に札を立てました。



今後、毎月、草取りをしながら 7～8 月ごろにつる返しを行います。収穫は、10 月初旬の予定です。なお、事前に、権現堂川地域環境保全協議会会長の上竹さんと新井先生に畑を耕し、畝を作って戴きました。また、新井先生には昨年に続き今年もサツマイモ苗を購入して戴きました。ありがとうございました。（澤村）

ハウネンエビとカブトエビでました！

5月10日、市民会議のメンバー配島さんから、行幸小学校の前の田んぼで「ハウネンエビ3匹を確認」との報告、13日の日曜日（「中川探検ウォーク」の後）7人のメンバーで観察しました。

いました！ 小さなハウネンエビが何匹も。去年に比べてとても小さく体長約1cmほど。小さいせいか、透きとおった緑色の体と小さな赤い尾っぽは、なかなか水の中で識別が難しく、よほど目をこらさないとわからない。



左上：ハウネンエビ

右：ハウネンエビをくわえたカブトエビ

この場所での去年の観察よりも、今年の観察は2週間も早いです。田んぼの水が、去年より早く暖まり、水温が高くなり、そのためハウネンエビの発生が早いのか、あるいは見つけるのが去年より早かったために、小さな体長なのか？

さらに今年のサプライズ！！「カブトエビ」を発見しました。田んぼをじっと眺めていた橋本さんが、「なんだコレ、カブトエビじゃないか」、確かにいました、カブトエビ。ハウネンエビの体長の2倍くらいの大きめの1匹と、少し小さなもう1匹。

網ですくうことができたのは、大きい方のカブトエビ。ハウネンエビを捕らえた洗面器の中に入れて、しばらく眺めていたら、突然、ハウネンエビに襲いかかった。しっかりと脚で抱えて、なんと、ハウネンエビを食べはじめたようだ。ぱっと離れたときには、ハウネンエビのしっぽが食いちぎられたようになかった！

カプトエビの発見は感動的でしたが、そのカプトエビがハウネンエビを襲うとは、思わぬ展開に、皆ショックを受けました。（久保田）

ストップ・おんだんか アラカルト

最近のニュースから



ニュース等を通して、地球温暖化について考えて、エコライフに挑戦しましょう！

～地球が過熱する～

IPCC は、温暖化は確実に進み、人間活動による温室効果ガス排出が要因の可能性がかなり高いことを確認し、21 世紀末には、循環型社会を実現すれば約 1.8 度、化石燃料に依存し高度経済成長した場合には約 4 度(2.4～6.4)の気温上昇は避けられないと予測した。

これに伴い、日本では、科学者からの国民への緊急メッセージ「気候の安定化に向けて直ちに行動を！」が発せられました。

その主な内容をご紹介します。

1. 過去 100 年での地上平均気温は、0.74 度上昇した。
特に、北極の温度上昇率は、地球全体の平均のほぼ 2 倍。
2. これにより海水温度が上昇し、海面の上昇が 20 世紀中に約 17cm に達した。
3. 温暖化や大気中の水蒸気の増加とともに、集中豪雨が世界的に増加する一方、干ばつの影響を受ける地域も増加しつつあり、熱帯性低気圧（特に北大西洋のハリケーン）の強度が増加。
4. どうしてこのような事態になったのか。それは、人類が化石燃料の消費によって毎年排出する二酸化炭素量は約 70 億炭素トン、自然界が吸収できる量は約 30 億炭素トンであり、排出量が、自然の吸収量を大きく超えているためです。
5. 気候を安定化させ悪影響を防ぐためには、人類が排出する温室効果ガスの量と吸収量をバランスさせる必要があります。
温室効果ガスの大幅な削減という大きな課題に向けて、直ちに、行動を開始する必要があります。
6. 京都議定書で約束した 6%の削減の達成は、「低炭素社会」の実現に向けたほんの第一歩です。

「低炭素社会の実現」という目標を共有し、私たち国民ひとりひとりが、自分の生活を見直し、温室効果ガスの低減のために何ができるか考え行動することを改めて呼びかけたい。今、行動を開始すれば、子どもたちと人類の未来を守ることができる。

(注) IPCC：気候変動に関する政府間パネルの略称。人為起源による気候変化、影響、適応及び緩和方策に関し、科学的、技術的、社会経済学的な見地から包括的な評価を行うことを目的として、1988 年に設立された組織。

(橋本)

第 3 回浮島つくり 行幸湖に集合!!

みんなで浮島を作ろう**浮島を作って、行幸湖をきれいにしよう**

行幸湖には、すでに 3 つの浮島があります。アシや野草が緑を増し、野鳥やカメの憩う姿がみられます。今年はこの浮島を、さらに 2 つ作ります。

おとなも子どもも だれもが参加できます**開催日：6 月 24 日(日) 9 時～12 時****集 合：行幸湖カヌークラブ艇庫****参加費：100 円(保険料)****定 員：50 名****申込み・問合せ：環境課 48-0331****参加者募集!****6～7 月の行事・活動****さて市民環境ネット****落ち葉でリサイクル****6 月 17 日(日) 9 時****7 月 15 日(日) 9 時****場所：ひばりヶ丘桜泉園**

じゃがいもの収穫、サツマイモの手入れ

* 問合せ 本田さん 42-8412

幸手権現堂桜堤保存会**アジサイまつり****5 月 27 日(日)～6 月 30 日(土)****場所：権現堂桜堤****幸手自然愛護会(会員 約 80 名)**

* 問合せ 小松さん 43-0803

フジバカマお守り隊**7 月 24 日(火) 9 時(毎月第 4 火曜日)**

権現堂堤の自生地の除草。

自然愛護会ふれあいウォーク**7 月 8 日(日) 9 時幸手駅集合 雨天中止****参加費：200 円 交通費など自己負担****観察場所：渡良瀬遊水池(谷中湖)****幸手地産地消研究会(会員 40 名)****火、木、土、日曜日 10 時～13 時****ゆうあい農産物直売所****場所：JA 本店倉庫・幸手郵便局東隣**

* 問合せ 増田さん 42-3813

権現堂川地域環境保全協議会**ケナフの種まき(会員約 500 名)****5 月 13 日(水) 4 年生の子どもたちと**

校庭の花壇にケナフの種をまきます。

場所：権現堂川小学校

* 問合せ 上竹さん 42-3423

倉松探検隊(会員約 20 名)**倉松川ウォークラリー****6 月 2 日(土) 1 時 45 分****場所：中央公民館**

* 問合せ 細谷さん 43-3268

その他の活動グループ：幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会

市民環境会議は、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を折り込むために作業してきました。そして今、環境ナビグループ、エコライフ DAY グループ、生態系グループ、腐葉土づくりグループ、グリーンコンシューマーグループが活動性取り組んでいます。誰でも参加できます。問合せは、幸手市市民環境会議(48-0331)まで。